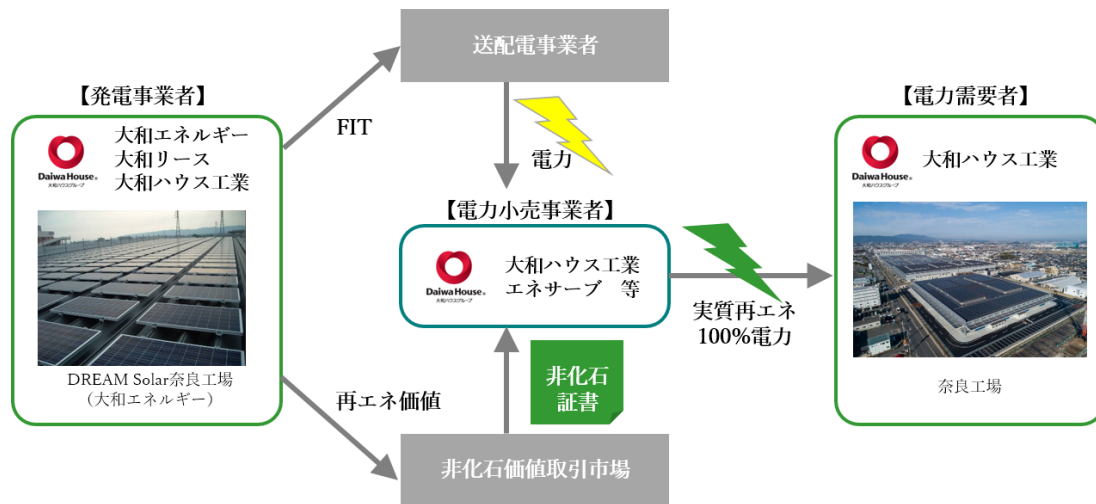




大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 芳井敬一  
大阪市北区梅田 3-3-5

## ■「自らつくる」再生可能エネルギーで自社工場を稼働させます 住宅業界初 工場の電力を再エネ由来の電力に切り替え

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、2020年10月より順次、自社工場で使用  
する電力を当社グループが運営・管理する施設で発電した再生可能エネルギーに切り替えます。



当社では、2016年7月、創業100周年となる2055年を見据えて、「環境と企業収益の両立」を達成するため、環境負荷“ゼロ”に挑戦する環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」を策定しました。

その目標達成のため、2018年3月には国際イニシアティブ「RE100」\*1に加盟し、事業運営に要する電力を「自らつくる」再生可能エネルギーで100%まかなうことを目標に掲げました。これを受け、2020年4月には、全国の事務所・施工現場・住宅展示場に再生可能エネルギー由来の電力の本格導入を開始しました。

そしてこのたび、住宅業界で初めて、工場の使用電力をまるごと再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることを決定しました。

全国9工場のうち、まず4工場（新潟工場、中部工場、三重工場、奈良工場）において、2020年10月より順次、当社グループの電力小売事業者等が供給する再生可能エネルギーの電力に切り替えます。供給する電力は、大和エネルギー株式会社が運営する太陽光発電所「DREAM Solar 奈良工場」（奈良県奈良市、発電出力：約2MW）や、大和リース株式会社が運営する太陽光発電所「DREAM Solar 和歌山市」（和歌山県和歌山市、発電出力：約17MW）など、当社グループが建設・運営・管理する再生可能エネルギー発電施設の再生可能エネルギー価値（トラッキング付非化石証書\*2）を付加した電力です。これにより、発電から供給、利用まで“再生可能エネルギーによる自給自足”を実現します。


4工場での切り替え電力量は約15,000MWh/年となり、CO<sub>2</sub>排出量を約7,400t/年削減できる見込みです。  
\*1.事業運営に要する電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目標に掲げる企業連合  
\*2 固定価格買取制度（FIT）対象の再エネ電力の再エネ価値を証書化した非化石証書のなかでも、再エネ価値の由来となる再エネ電源が特定されているもの。

その結果、当社グループでは工場や事業所などの使用電力を切り替えることにより、再生可能エネルギー電力利用量は2019年度の1,415MWh（再生可能エネルギー利用率：0.3%）から2021年度には51,500MWh（再生可能エネルギー利用率：11%）となり、2040年度には100%を再生可能エネルギーで賄う予定です。


今後、当社グループでは「脱炭素社会」の実現のため、自社施設での再生可能エネルギー電力の活用を推進するとともに、発電から販売、利用まで行うノウハウを活かし、環境経営を推進する企業への再生可能エネルギー電力の提案・普及を加速させます。

●工場での再生可能エネルギーへの切り替え時期

切り替え時期	対象施設
2020年10月	新潟工場（事務所棟）
	中部工場（工場棟・事務所棟）
	三重工場（工場棟・事務所棟）
	奈良工場（事務所棟）
2020年12月	新潟工場（工場棟）
2021年10月	奈良工場（工場棟）



エコ・ファースト企業  
環境大臣認定

 We Build ECO

DaiwaHouse Group

私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112



【奈良工場】